

①芦屋市立図書館打出分室（旧逸見銀行）

所在地：芦屋市打出小槌町 15-9 建築年：1930 年 設計：不詳
旧逸見銀行の建物でその後、松山与兵衛邸となり現在の図書館へと。
ルスティカ積みが特徴のイタリアルネサンス風建物。

【打出の由来】京都から芦屋を通り、九州の大宰府へ行く西国街道は、この地で初めて海に出ます。そのため、西国街道を通る人々に、その風景と打出の地名が、強く心に残ったといわれています。

また、打出には、その昔、願いごとがかなう「打出の小槌」を持った長者が住んでいた民話があることから、打出の小槌にちなんだ地名が付けられたともいわれています。

小川洋子は「ミーナの行進」に書かれ、村上春樹も訪れたというファン巡礼地ですね！



②芦屋モノリス（旧逓信省芦屋別館）

所在地:芦屋市大槻町 5 - 2 3 建築年:1929 年 設計:上浪明
電話局の建物を結婚式場に転用
アーチを重ねた回廊風のデザインが素晴らしく
スチールサッシもそのまま残っている
外装は焼きむらのあるスクラッチタイル



③芦屋カトリック教会

所在地：芦屋市公光町 5-15

建築年：1953 年

設計：長谷部鋭吉

村野藤吾が慕っていたというドイツ表現派の流れを汲む設計家・長谷部鋭吉の作品
搭の形と色が美しい。

長谷部鋭吉は住友ビルディングの設計で有名。



④芦屋警察署

所在地:芦屋市公光町 6-7 建築年:1927 年

設計: 兵庫県営繕課

アーチ窓と縦ラインの組み合わせは、表現主義的な面白さがある。

玄関アーチ上のフクロウがかわいい

アクセントとなっている。



⑤ 芦屋ルナホール

所在地: 芦屋市業平町 8-24 建築年: 1968 年 設計: 坂倉準三

坂倉はフランスでコルビュジェに弟子入りした戦後モダニズムのリーダーのひとりでパリ万国博覧会日本館も設計し、グランプリに輝いた実績あり。

コンクリート打ちっ放しの壁が美しい。



⑥ 芦屋佛教会館

所在地: 芦屋市前田町 1-5 建築年: 1927 年

設計: 片岡安・片岡建築事務所

丸紅創業者の建てた会館で片岡にしてはあっさりした設計で免震構造になっている。辰野金吾と辰野片岡建築事務所を開設していたことで有名。



蓮の花をモチーフにしたステンドグラス



⑦重信医院

所在地：芦屋市西山町１１－３

建築年：１９２６年（１９４０年）

設計：不詳

横引きのスクラッチタイルが珍しいらしい。
専門が内科・小児科なので子供の気持ちも
和むのではと思う山小屋風デザインの医院。



⑧ドムス芦屋川

所在地：芦屋市西山町１２－１４

建築年：１９９７年

設計：石井修/美建設計事務所

柔らかい印象の丸屋根、南北に
分かれた５階と３階の建物とそれ
をつなぐ空間全体が兄弟がじゃれ
あっているようにも見える。



⑨ヨドコウ迎賓館

(旧山邑邸)

所在地:芦屋市山手町 3-10

建築年:1924 年

設計:フランク・ロイド・ライト

実施設計:遠藤新、南信

灘の酒造家・山邑太左衛門の別邸。

傾斜地に建てられ土地と建物の一体化に味わいがある。

外壁から屋上を飾る装飾はメキシコやマヤを連想させる。

ライトによる原案は 1918 年に完成したが着工を待たず離日したそうです。

近代建築の三大巨匠の 1 人ライトは明治以降来日した多くの外国人建築家のうち影響力の大きさではコンドルに次ぐと言われています。

また北アメリカ中心に仕事をしていて帝国ホテルや山邑邸などの日本の作品は例外と言っていい。



2 階応接室のテーブルと椅子



2 階応接室のマホガニーの本棚



3階和室：飾り銅版の透かし窓



右は4階食堂の天井

おまけ（芦屋市のマンホールと星座の広場）



市の木・クロマツと芦屋川

市の花コバノミツバツツジ

芦屋川駅の花時計が星座の広場に

のデザイン

～ Copyright (C) コットン ～

<参考文献>

京都・大阪・神戸[名建築]ガイドマップ 円満字洋介

トラベルMOOK ジパング倶楽部 ニッポンの名建築を旅する 藤森照信

窓から読み解く近代建築 酒井一光

日本の近代建築（下） 藤森照信

国土交通省のPDF：

http://www.kkr.mlit.go.jp/rokko/rokko/study/ashiya/ash-b_1.pdf



